


環境に優しく、災害時にも安心なZEVへの転換を検討しませんか!?



ZEV(ゼロエミッションビークル)とは・・・


走行時にCO₂（二酸化炭素）などの排出ガスを出さない自動車のこと。
ZEVには、EV、PHV、FCVの3種類があります。

EV
(電気自動車)



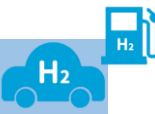
バッテリーに充電した電気だけで走行します。

PHV
(プラグインハイブリッド自動車)



バッテリーに充電でき、電気とガソリンで走行します。充電した電気だけでも走行可能です。

FCV
(燃料電池自動車)



水素を燃料とし、水素と空気中の酸素で発電した電気で行きます。水素は専用の水素ステーションで補充します。

ZEV転換の3つのメリット

メリット1 環境にやさしい!

ZEVは、**走行時のCO₂排出がゼロ!**
ガソリン車で10km走行した際に排出するCO₂を1日で吸収するには杉の木52本が必要です。



メリット2 乗り心地が快適!

ZEVは、ガソリン車のような音や振動がなく、スムーズに加速するため**乗り心地が快適**です。

メリット3 災害のときも安心!

ZEVの多くは、車内に備えられたコンセントや外部給電器を利用することで、**災害等の停電時に電気を使えます。**



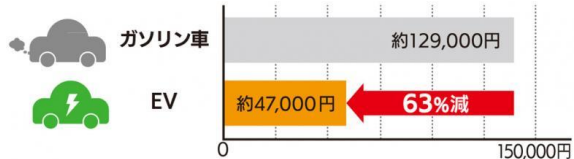
停電時に車から電気を供給

しかもEVなら... 走行コストが安い!

年間の走行距離10,000kmの場合、EVの走行に必要な1年間の充電代は約47,000円。一方、ガソリン車の燃料代は約129,000円です。

また、基本的に自宅で充電するため、ガソリンスタンドに行く手間が省けます。

■ 10,000km走行時のコストの比較



※ガソリン車の燃料代は、13km/L、168円/Lで計算
※EVの充電代は、6.5km/kWh、31円/kWhで計算



栃木県



ZEVの導入をお考えの皆様へ

EV・PHVを導入するなら

【中小企業者等向け】

①専用サイト



「災害時電源EV・PHV導入促進事業」



申請期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

※予算に達し次第受付終了（受付先着順）

対象者

- (1) 県内に事業所を有する中小企業者等※
 - (2) (1)とリース契約を締結した事業者
- ※ 中小企業者、中小企業団体、医療法人、社会福祉法人、学校法人、青色申告を行っている個人事業主等

要件

- (1) 給電機能付きの車両
- (2) 栃木県災害時協力車登録制度への登録

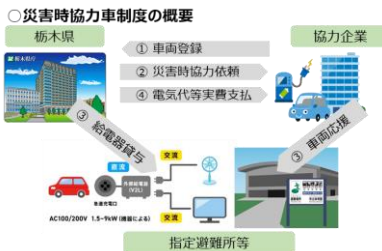
対象車両

国の補助金※の交付対象となるEV 又はPHV

※経済産業省グリーンエネルギー自動車導入事業補助金

補助金額

1台あたり20万円（定額）



詳しくは県HPへ

栃木県災害時協力車登録制度



FCVを導入するなら

【個人・法人向け】

②専用サイト



「燃料電池自動車導入促進事業」



申請期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

※予算に達し次第受付終了（受付先着順）

対象者

- (1) 県内に居住する個人
- (2) 県内に事業所を有する法人
- (3) 上記の個人又は法人とリース契約を締結した事業者

対象車両

国の補助金※の交付対象となるFCV

※経済産業省グリーンエネルギー自動車導入事業補助金

補助金額

国補助金の1/2以内（上限：100万円）

さらに・・・

国の補助金との併用が可能！！

■令和5年度補正 補助上限額

| 車別 | 上限額 | 車別 | 上限額 |
|-----|------|-----|-------|
| EV | 85万円 | PHV | 55万円 |
| 軽EV | 55万円 | FCV | 232万円 |

※導入する車両により補助額が異なります。

お問い合わせ

一般社団法人次世代自動車振興センター
TEL：0570-001-136（ナビダイヤル）
受付時間：10:00～12:00／13:00～16:00
（土・日・祝日、年末年始は休み）

URL：<https://www.cev-pc.or.jp/>



問い合わせ先

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20 栃木県環境森林部気候変動対策課
TEL：028-623-3186 Email：kikou-hendou@pref.tochigi.lg.jp